

令和2年度全国学力・学習状況調査
児童生徒質問紙に関する
調査結果報告書

令和2年12月

岩見沢市教育委員会
岩見沢市立教育研究所

I 調査の概要

1 調査の目的

本年度は、新型コロナウイルス感染症による学校教育への影響等を考慮し、全国学力・学習状況調査を中止することになった。しかしながら、岩見沢市としては、「家庭で5つの約束」を推進していることから、継続して市内における児童生徒の学習や生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証して、今後の学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることとした。

2 調査の対象

原則として、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象

3 調査の内容

児童生徒の質問紙に関する調査事項

- (1) 基本的な生活習慣等
- (2) 自己有用感・挑戦心・達成感・規範意識等
- (3) 学習習慣等
- (4) 地域や社会に関する活動の状況
- (5) ICTを活用した学習状況
- (6) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- (7) 学習に対する興味・関心等

4 調査をした学校数・児童生徒数

岩見沢市（公立）

	学校総数（校）	参加学校数（校）	児童生徒数（人）
小学校	14	14	569
中学校	9	9	555
合計	23	23	1,124

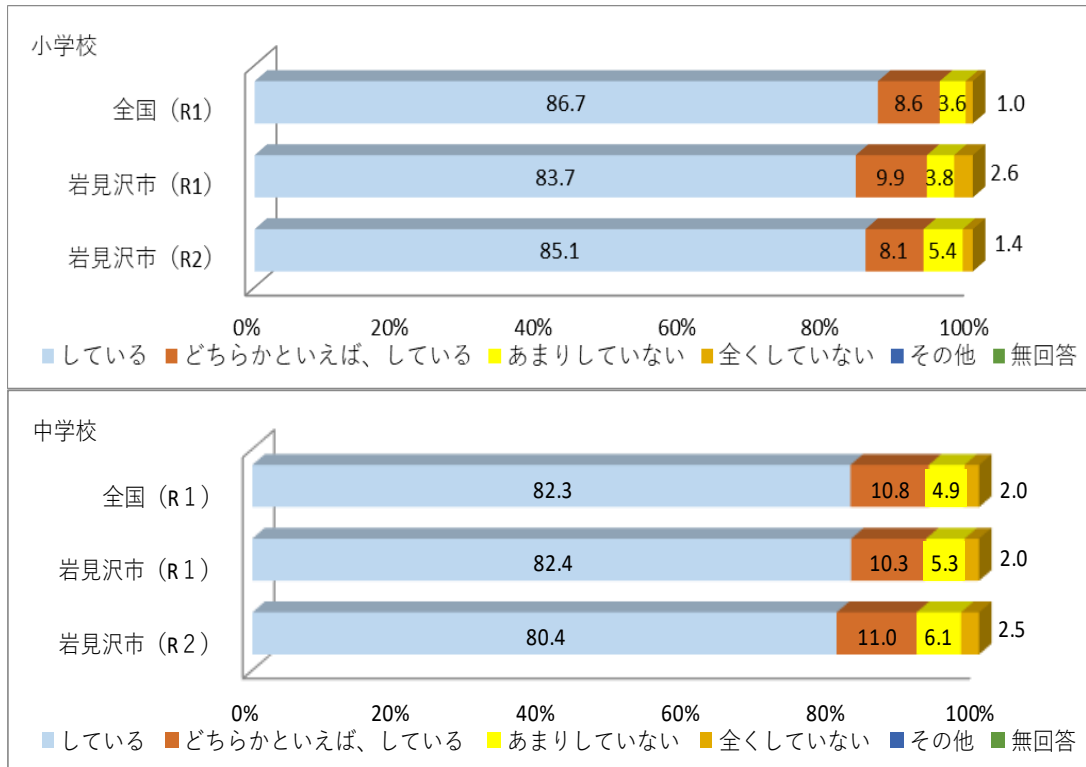
II 質問紙に関する調査結果

1 児童生徒の質問紙調査結果の概要

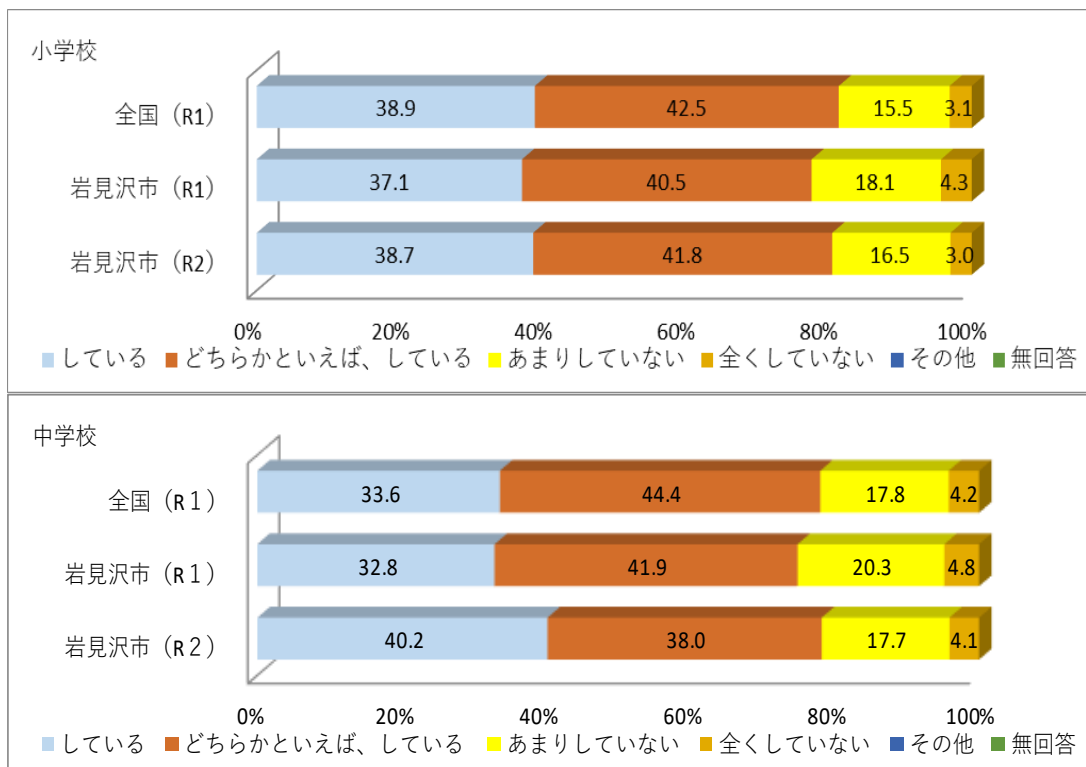
* グラフの上段は「小学校」、下段は「中学校」を表す

* R1 は令和元年、R2 は令和2年を表す

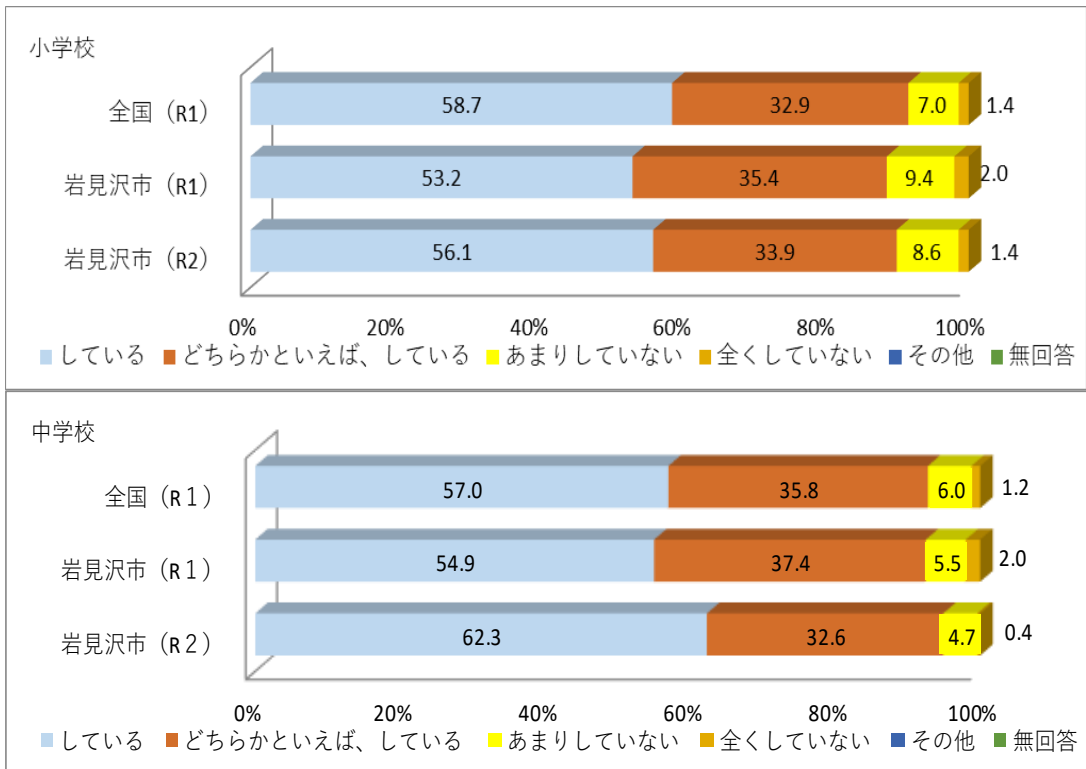
(1) 朝食を毎日食べていますか。



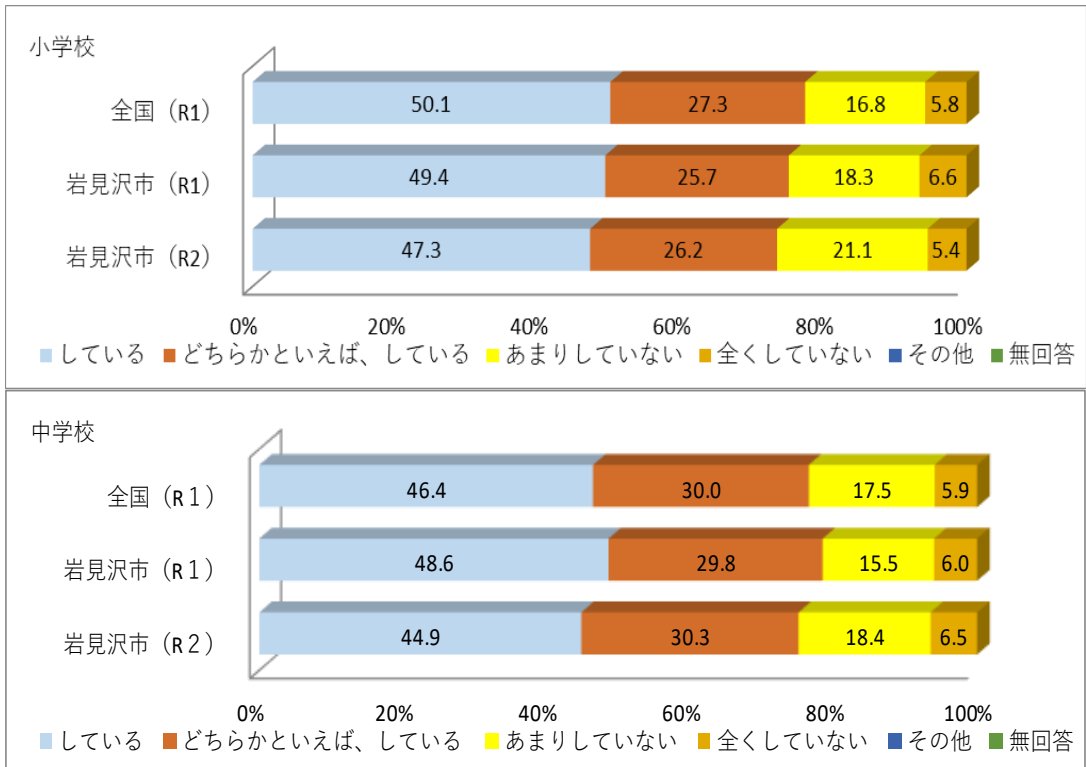
(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



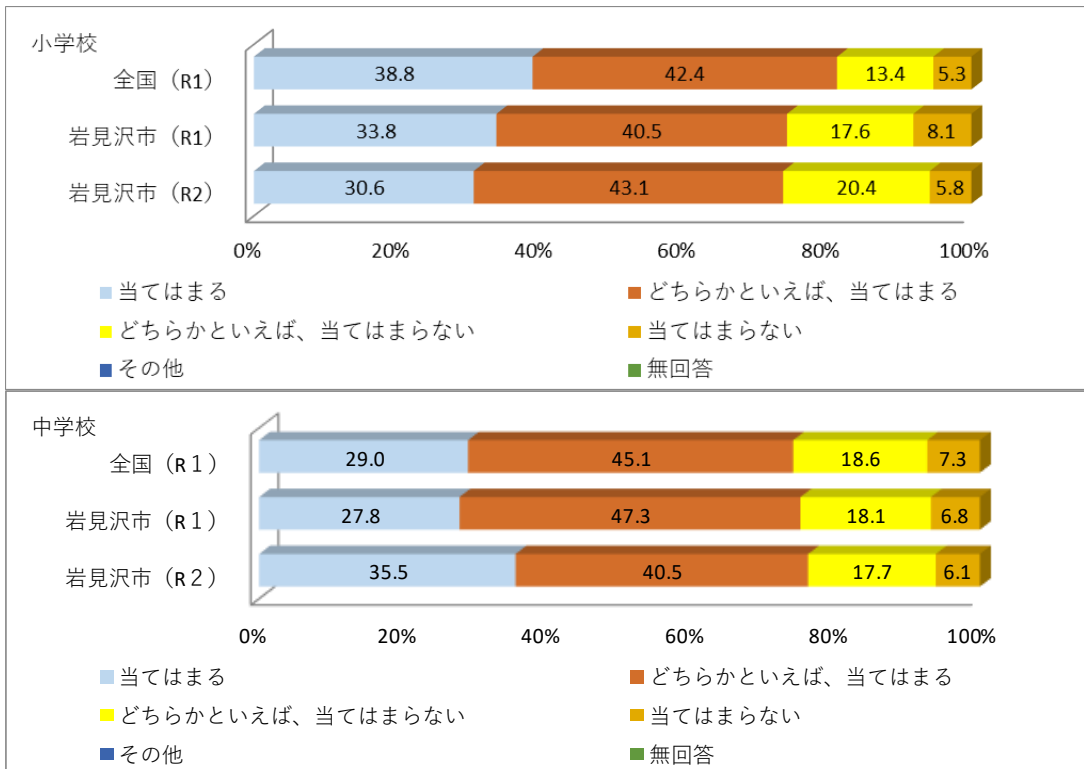
(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



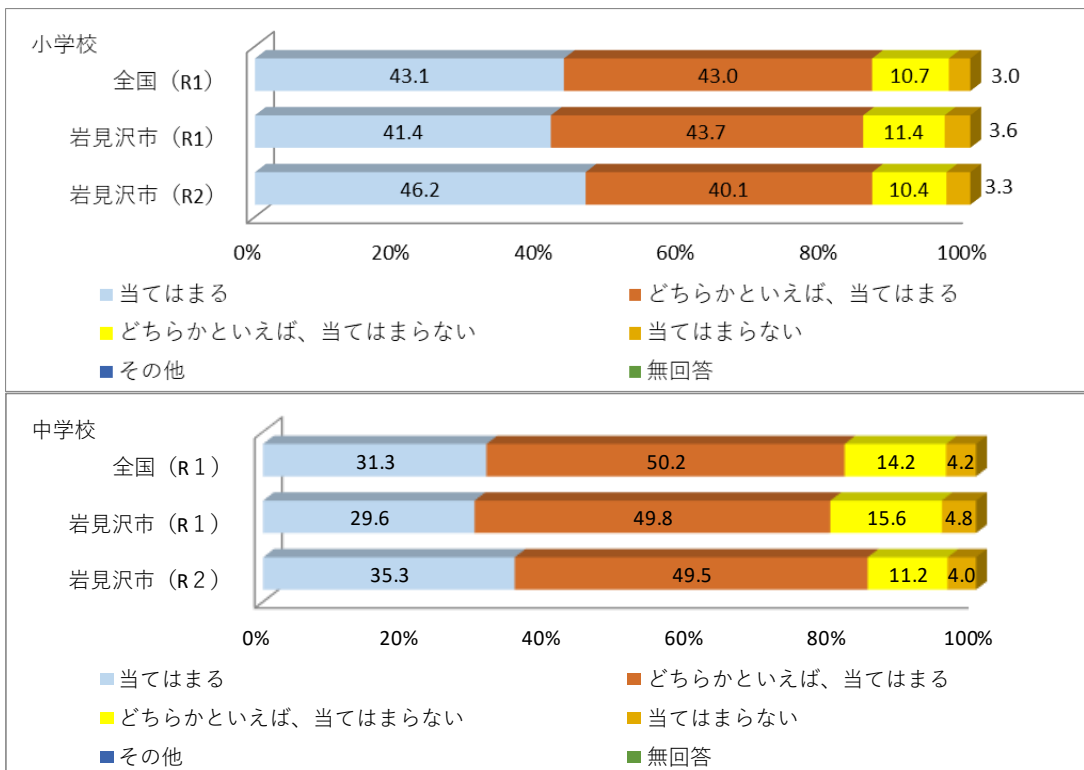
(4) 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。



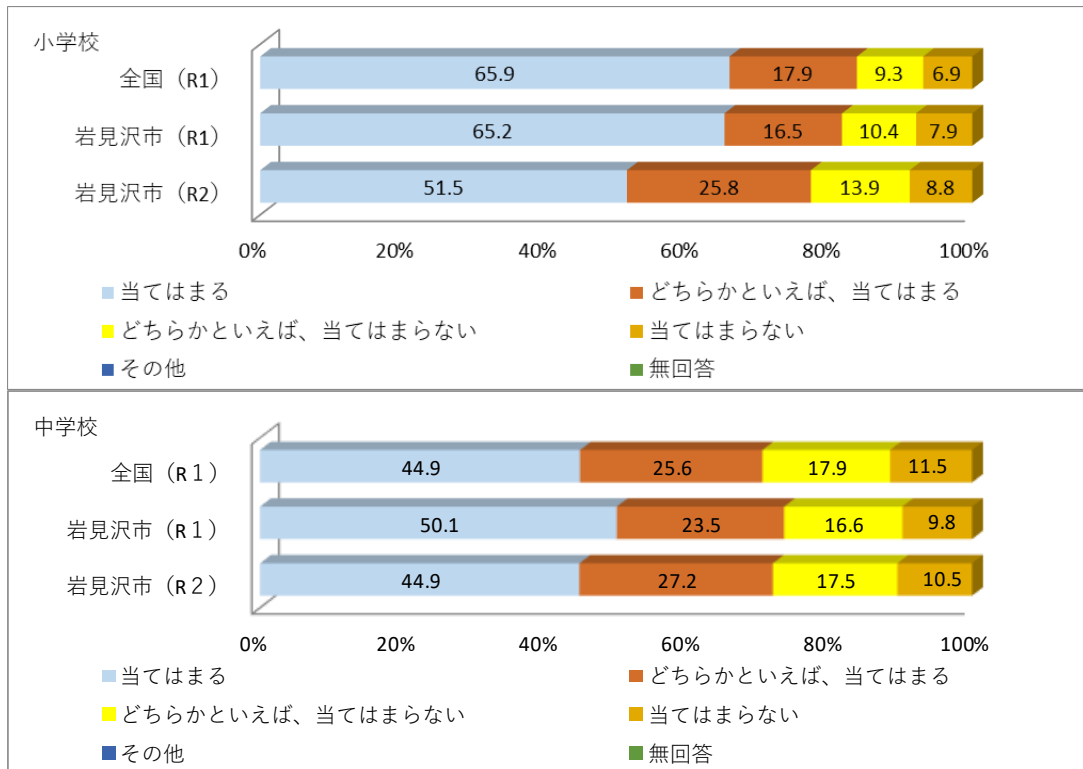
(11) 自分には、よいところがあると思いますか。



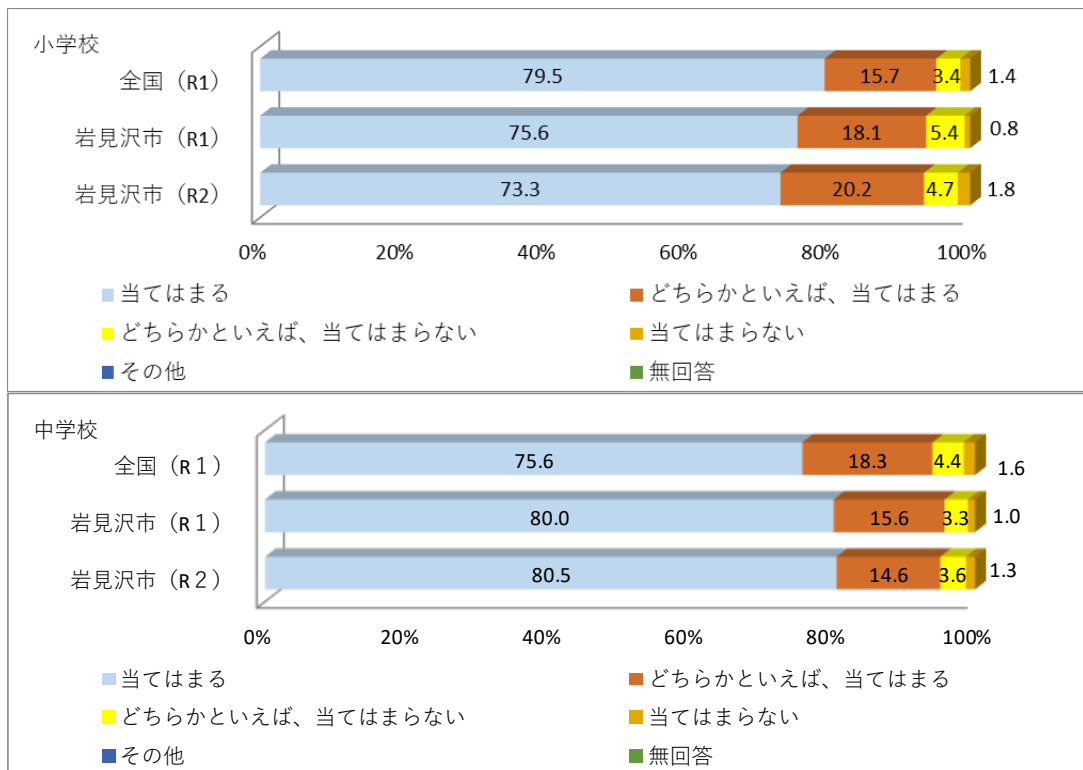
(12) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



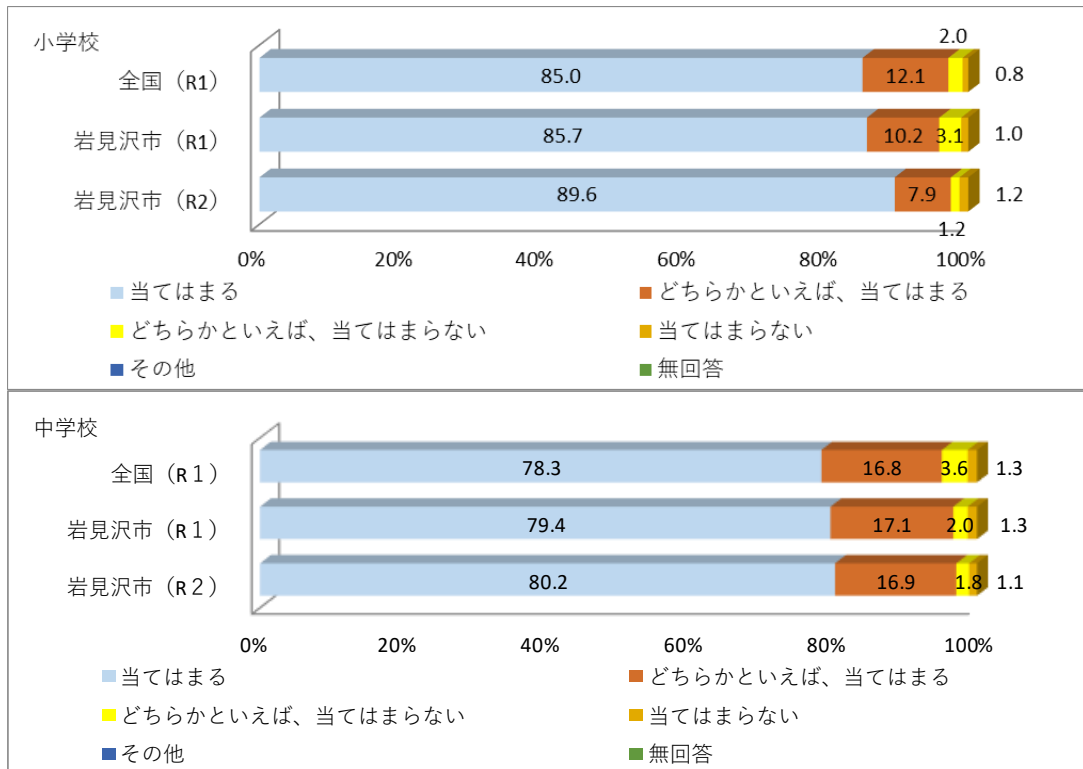
(13) 将来の夢や目標を持っていますか。



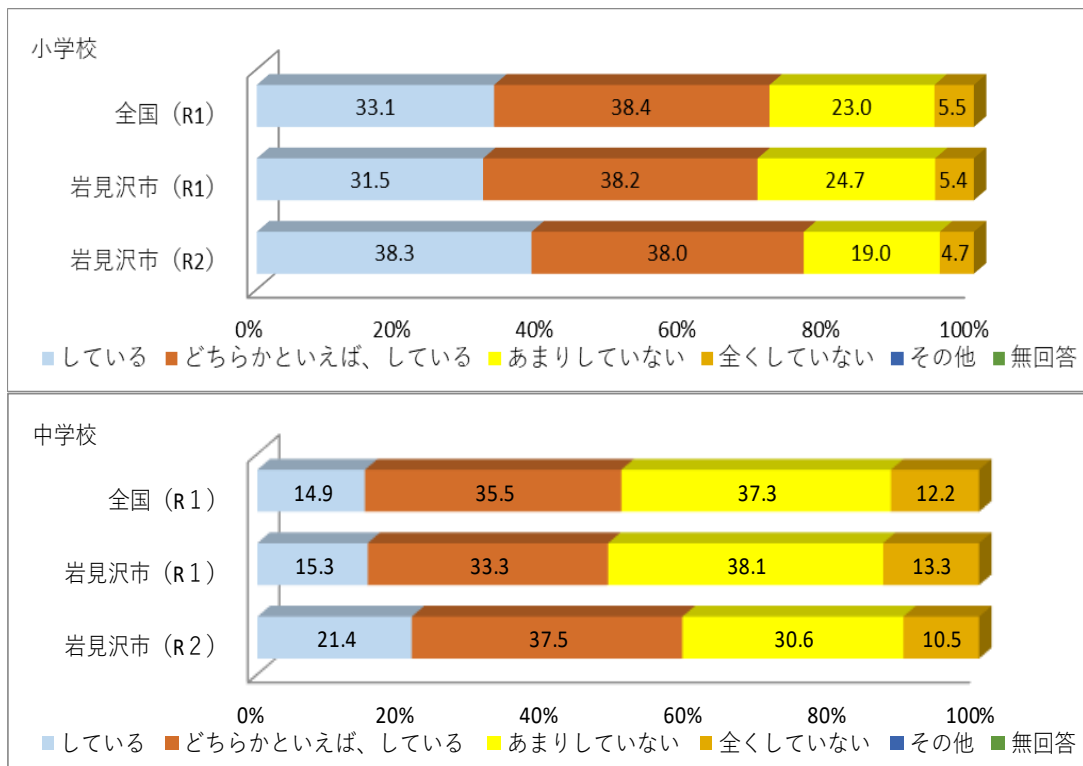
(14) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。



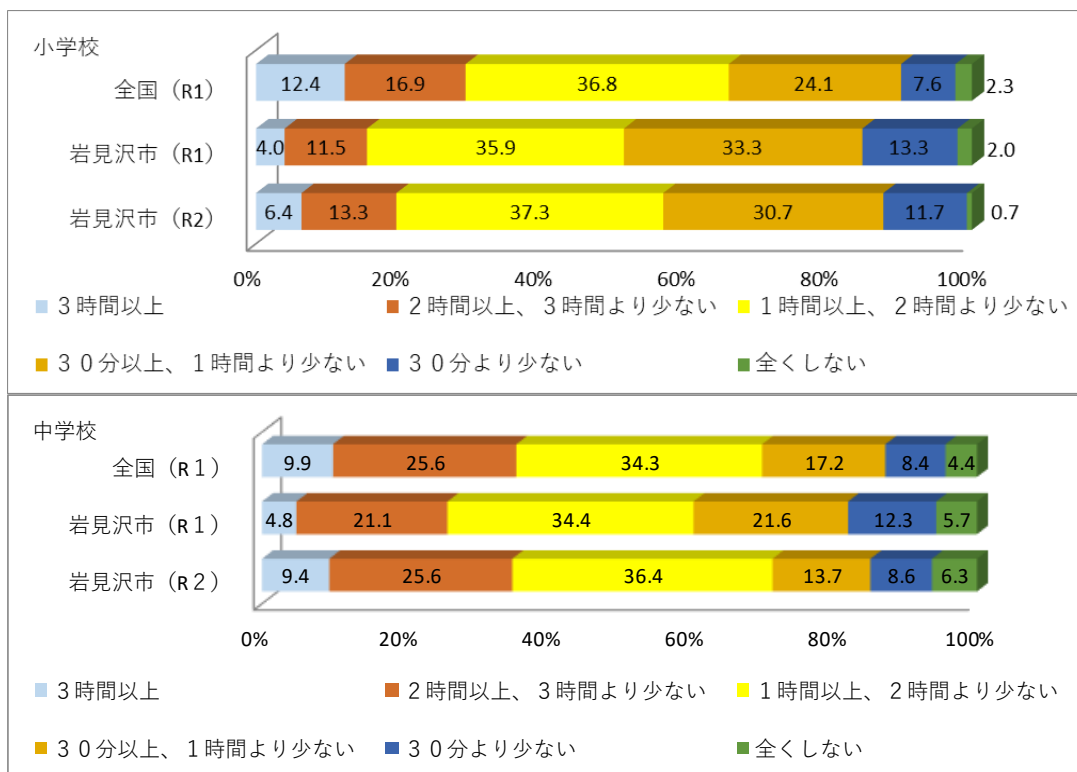
(18) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



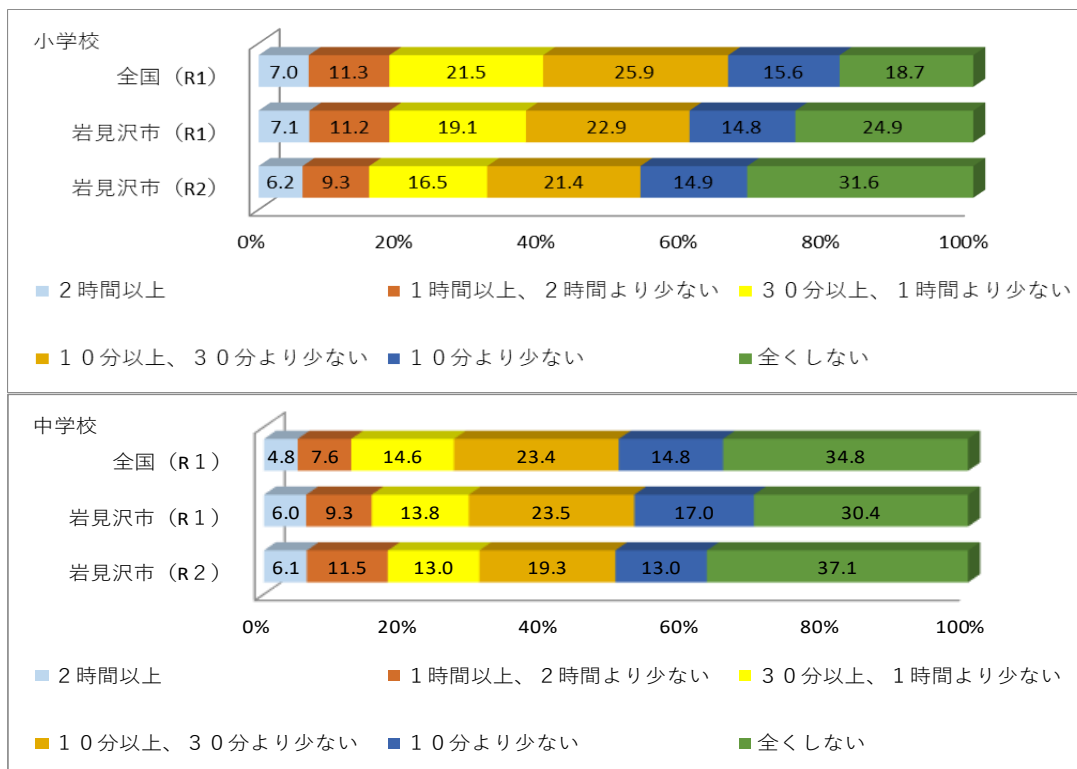
(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)。



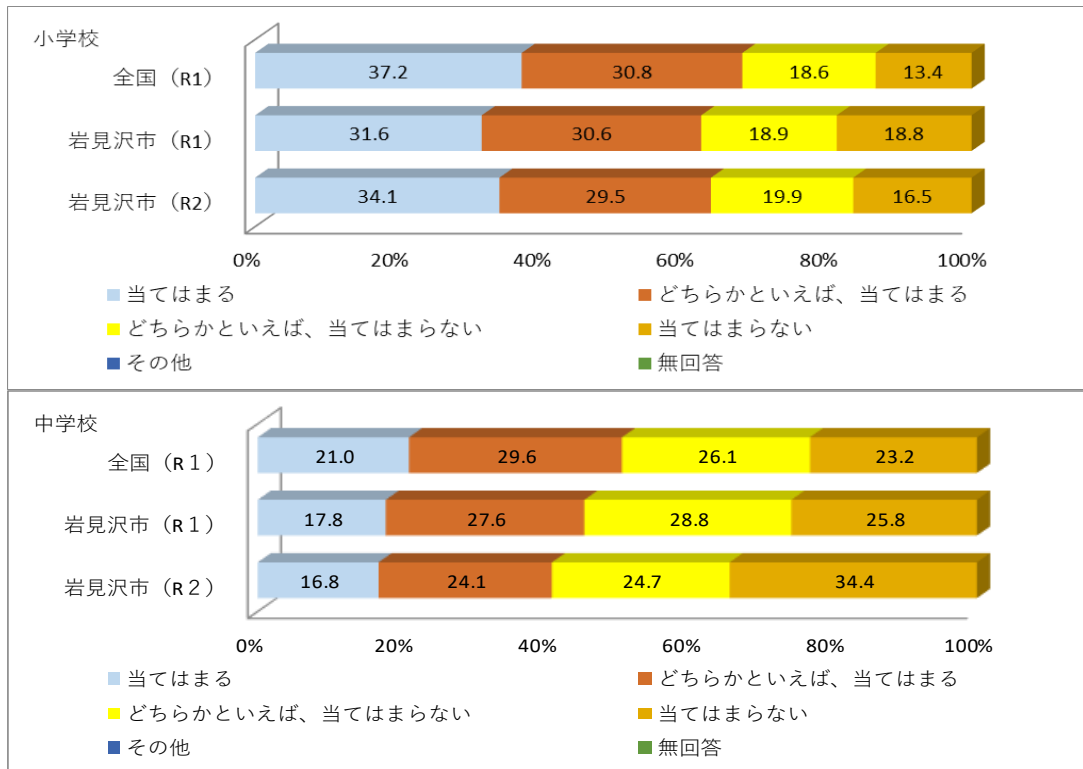
- (21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）。



- (24) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

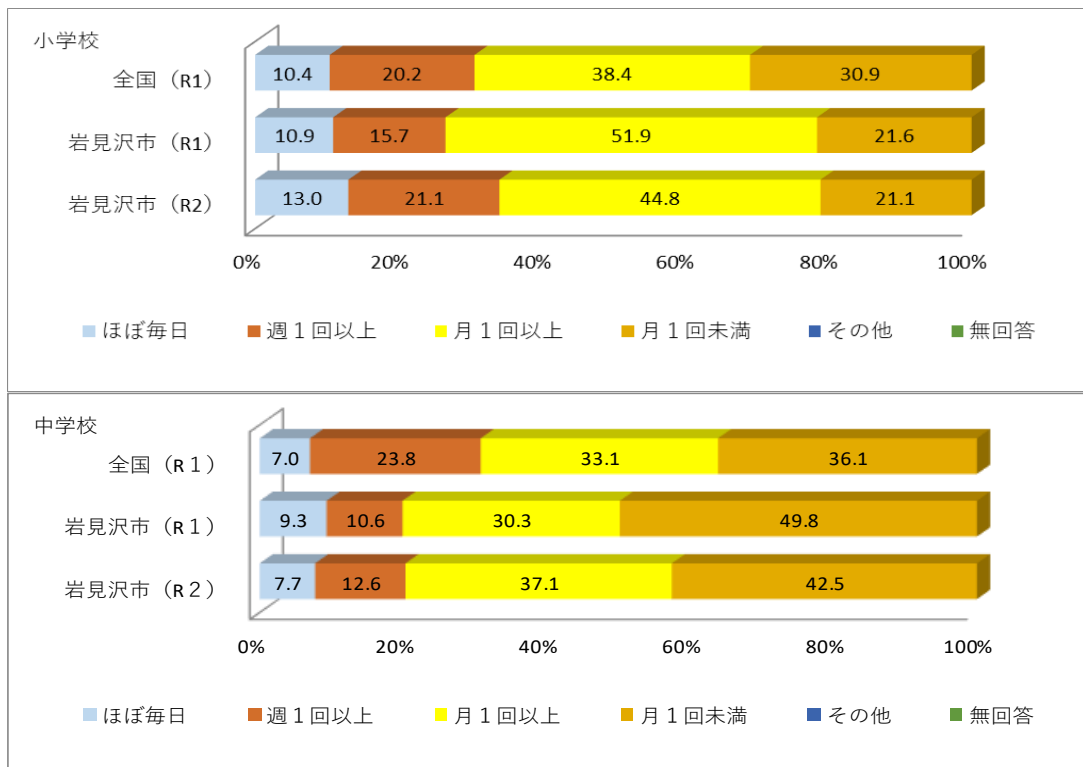


(26) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

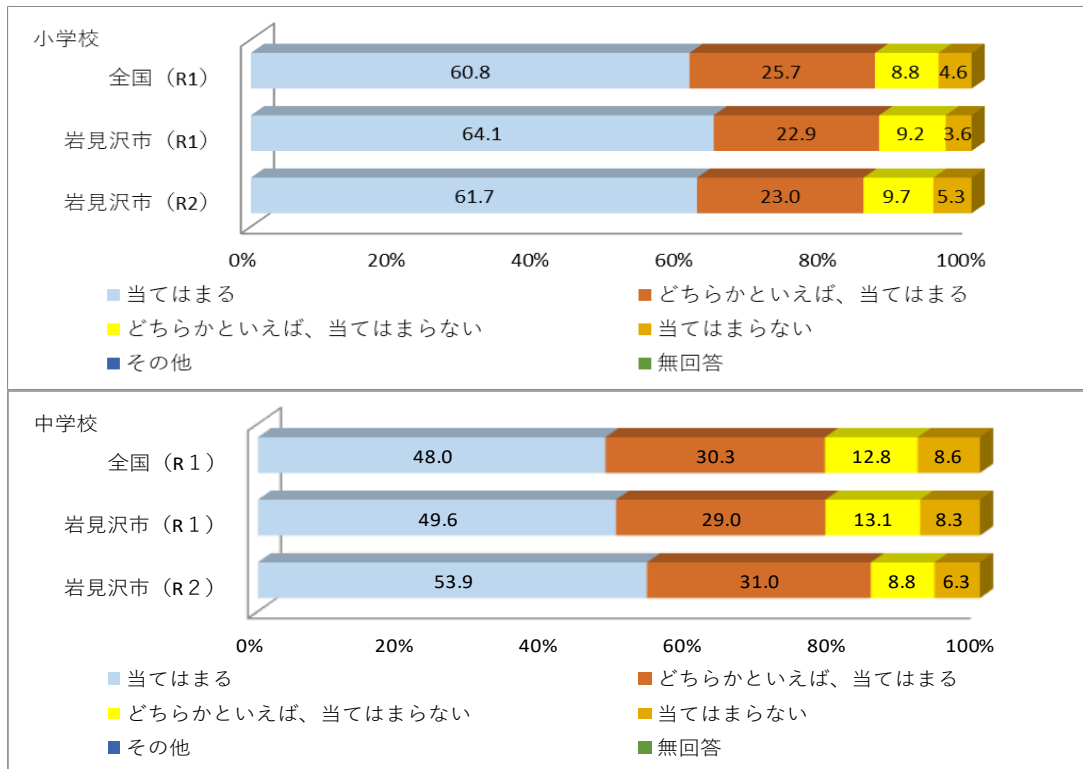


(28) ㊦ 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

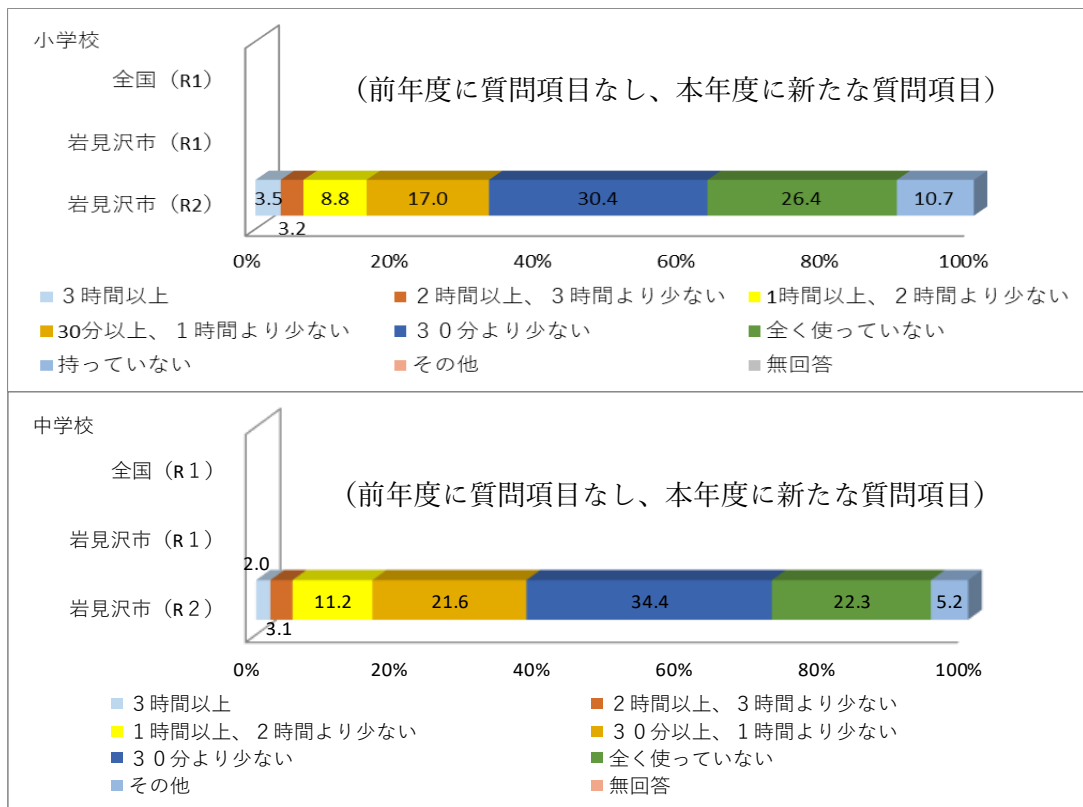
㊦ 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか



(29) 授業でもっとコンピュータなどのICT機器を活用したいと思いますか。

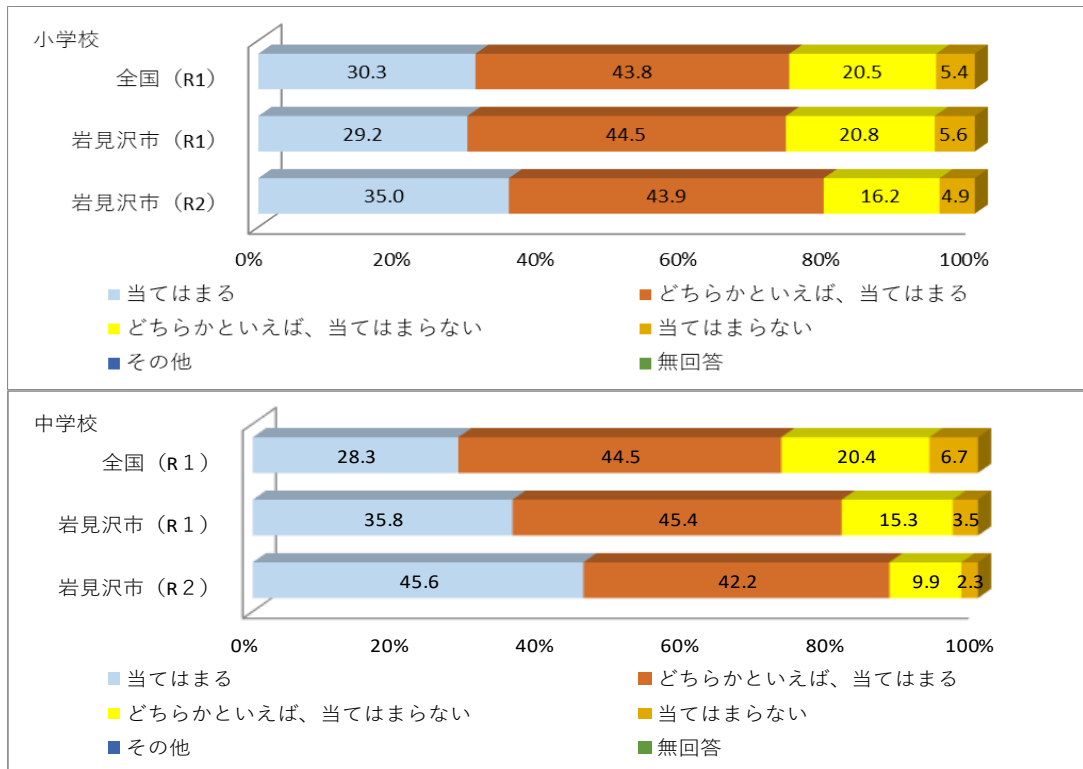


(30) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

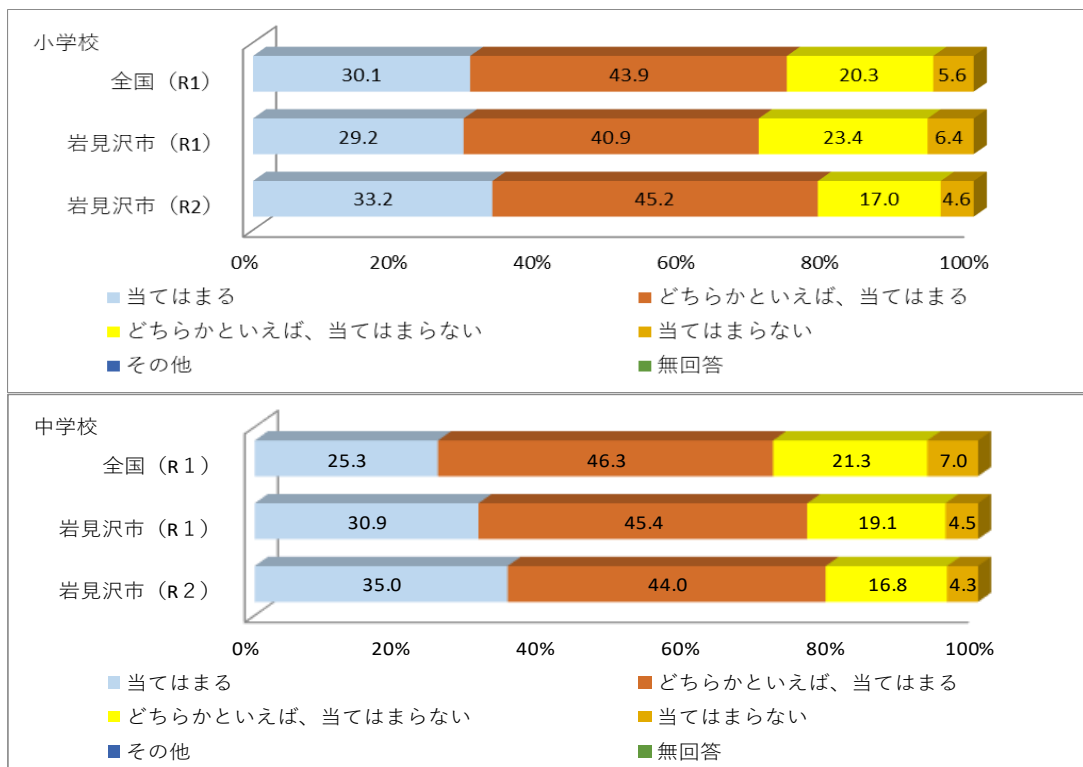


(37) ㊸学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

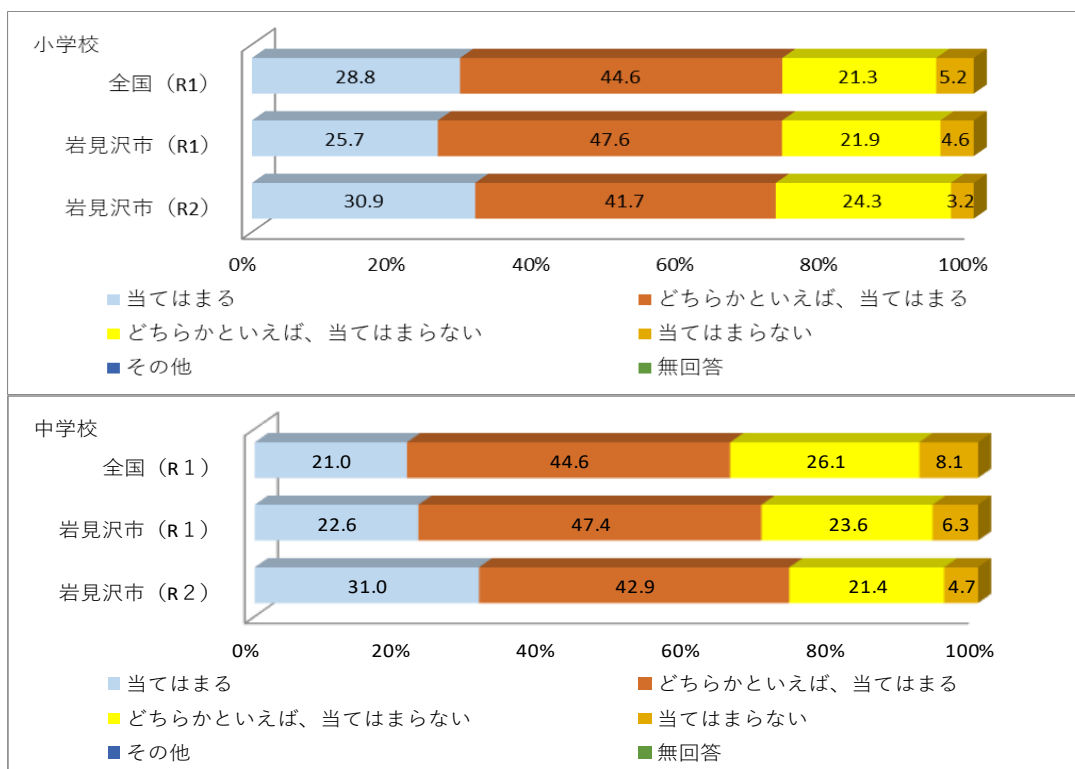
㊹生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



(42) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。

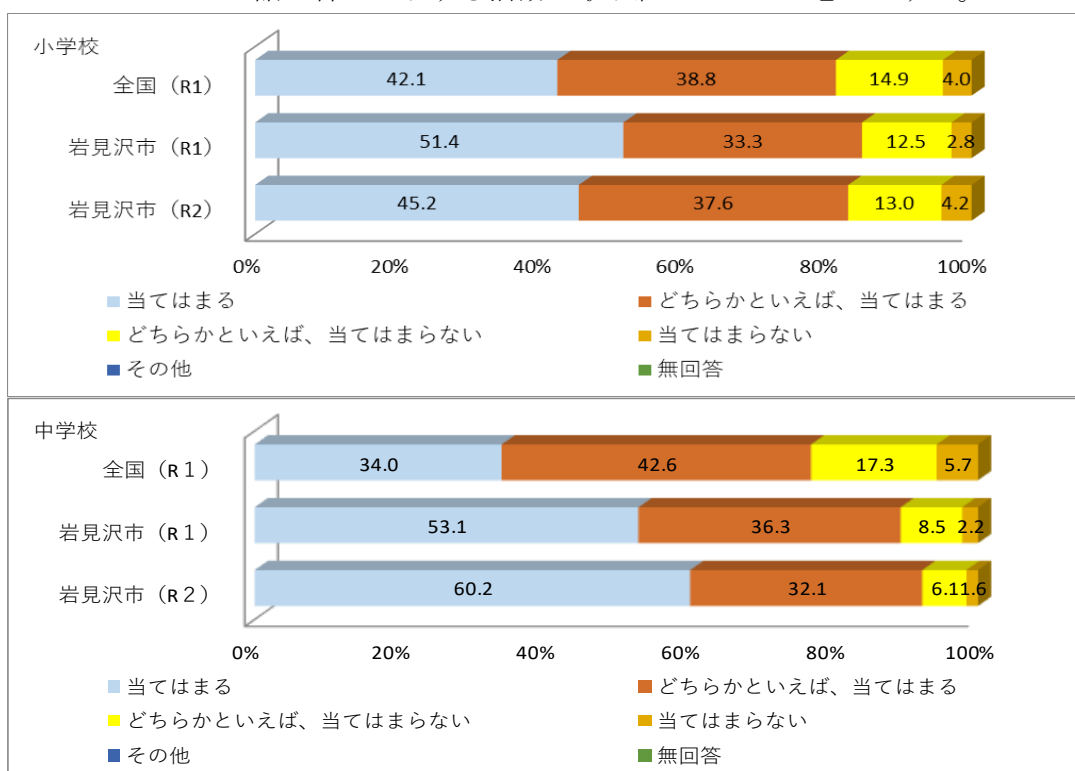


(43) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。

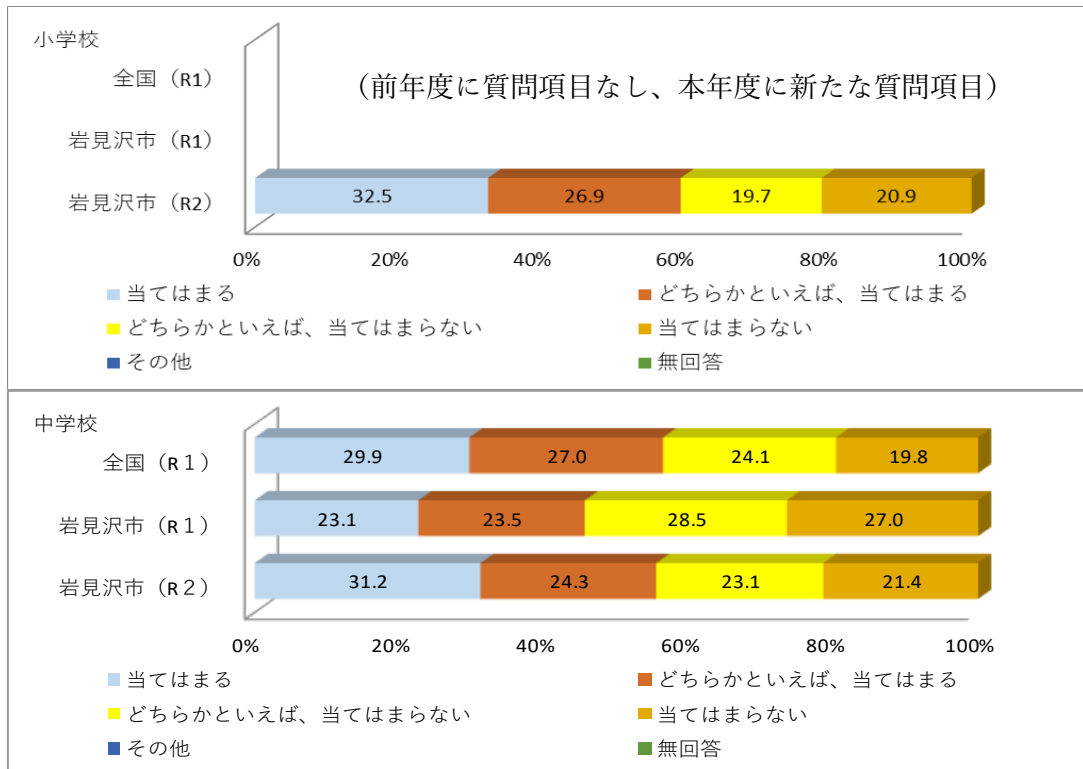


(44) ④道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。

⑤ 1・2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。

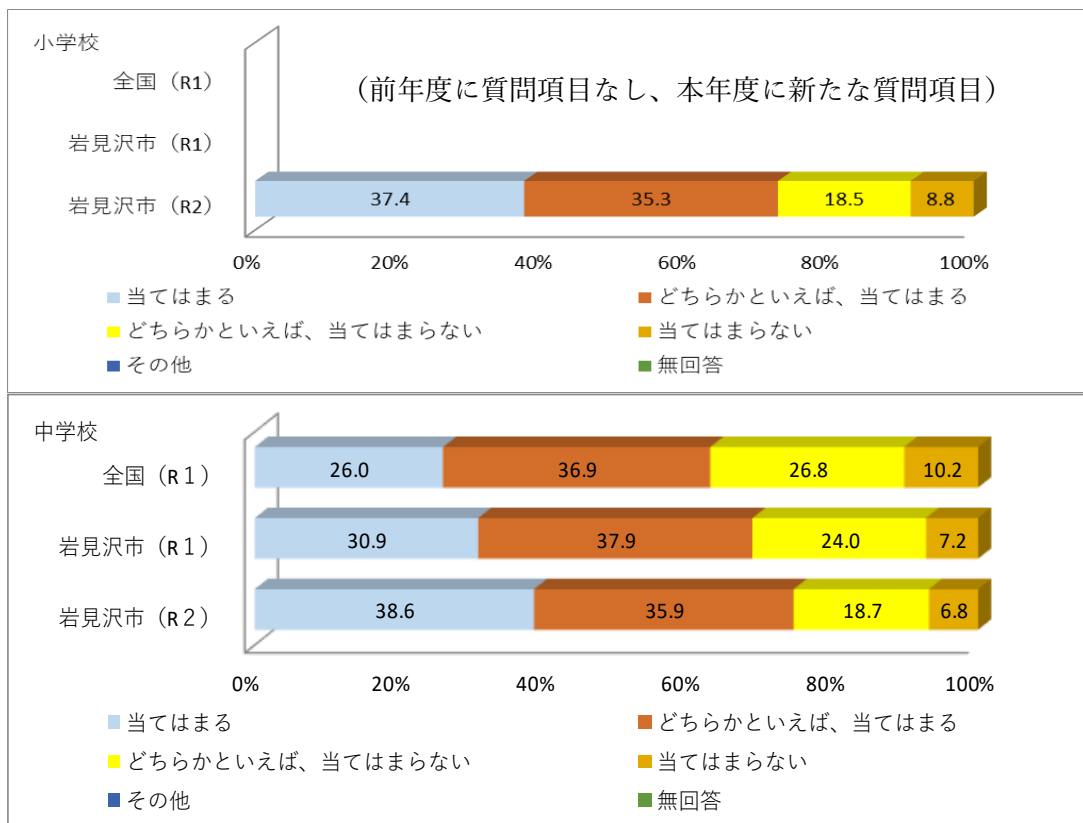


(67) 英語の勉強は好きですか。



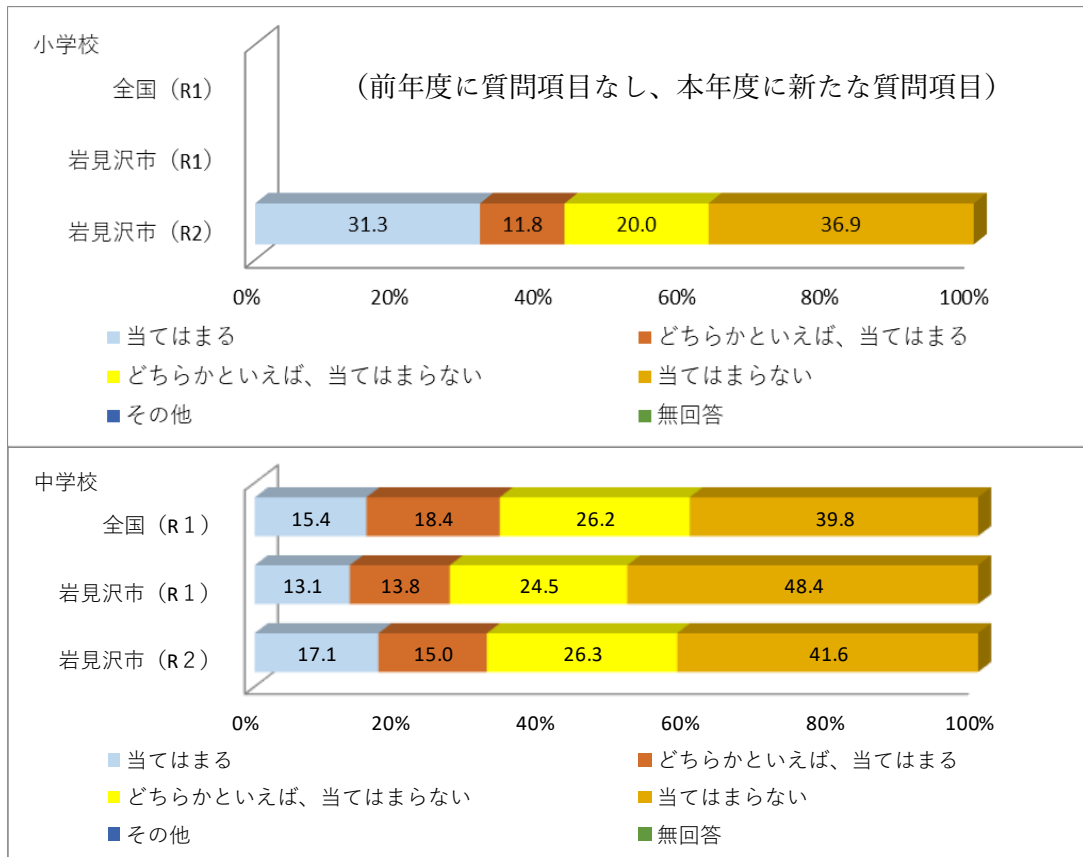
(68) ④ 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。

④ 1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。



(69) ㊦あなたはこれまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語の歌を聞いたりテレビで見たりする、英会話教室に通うなど)

㊧あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか。



Ⅲ 調査結果の概要及び指導改善のポイント

本報告書は、市内小・中学校で実施した「児童生徒質問紙の調査」について、集約したデータを基にして、岩見沢市における児童生徒質問紙調査結果の概要をまとめるとともに、改善に向けた取組について記載します。

1 児童生徒質問紙調査結果の概要と考察

数値の目安	±1%未満→同様	±1%～2%未満→やや上・下回る
	±2～5%→上・下回る	±5%以上→大きく上・下回る

(1) 基本的な生活習慣について 質問番号 (1)、(2)、(3)、(4)

- 「朝食を毎日食べていますか」についての肯定的な回答は、小・中学校共に昨年の全国や岩見沢と比べて、やや下回っている。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、同様であるが、昨年の岩見沢よりは上回っている。中学校は昨年の全国と同様で、昨年の岩見沢より上回っている。
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、やや下回り、昨年の岩見沢よりはやや上回っている。中学校は昨年の全国や岩見沢より上回っている。
- 「家の人と学校の出来事について話しますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて下回り、昨年の岩見沢よりやや下回っている。中学校は昨年の全国よりやや下回り、昨年の岩見沢より下回っている。

基本的な生活習慣については、全般的に昨年の全国と比べて下回っているものの、「起床・就寝の時間」に関してはよい傾向が見られる。「家の人との会話」の機会が減少している。

(2) 自己有用感・挑戦心・達成感・規範意識等について

質問番号 (11)、(12)、(13)、(14)、(18)

- 「自分には、よいところがあると思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、下回り、昨年の岩見沢よりやや下回っている。中学校は昨年の全国よりやや上回り、昨年の岩見沢と同様である。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、同様であり、昨年の岩見沢よりやや上回っている。中学校は昨年の全国より上回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国や岩見沢と比べて、下回っている。中学校は全国よりやや上回り、昨年の岩見沢よりやや下回っている。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありましたか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、やや下回り、昨年の岩見沢と同様である。中学校は昨年の全国よりやや上回り、昨年の岩見沢と同様である。

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年と比べて、同様であり、昨年の岩見沢より上回っている、中学校は、昨年と比べて、同様である。

自己有用感や規範意識については、よい傾向が見られる。特に、中学校は顕著である。しかし、挑戦心や達成感については、昨年並で向上が見られていない。規範意識（いじめ）については、指導の成果が浸透してきていると考えられる。

(3) 基本的な学習習慣について 質問番号 (20)、(21)、(24)、

- 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年と比べて、上回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。中学校は、昨年と比べて、同様である。
- 「学校の授業時間以外に、1日あたりどれぐらいの時間、勉強をしますか」については、1時間以上と回答したのが、小学校は昨年と比べて、大きく下回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。中学校は昨年と比べて、やや上回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。
- 「学校の授業時間以外に、1日あたりどれぐらいの時間、読書をしますか」については、30分以上と回答したのが、小学校は昨年と比べて、大きく下回っている。中学校は昨年と比べて、上回り、昨年の岩見沢よりやや上回っている。

基本的な学習習慣については、小・中学校共に全般的によい傾向にある。特に、「家庭での計画的な勉強」は伸びが著しい。ただ、小学校の「読書の時間」の少ない傾向が続いているのが課題である。

(4) 地域や社会に関する活動について 質問番号 (26)

- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年と比べて、下回り、昨年の岩見沢よりやや上回っている。中学校は、昨年と比べて、下回り、昨年の岩見沢より下回っている。

「地域行事への参加」は、新型コロナウイルス感染拡大の懸念のため、いろいろ制限されている影響も考慮すべきではあるが、しかし、例年、全国より下回っている状況が続いている。

(5) ICTを活用した学習状況について 質問番号 (28)、(29)、(30)

- 「前の学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」については、週1回以上と回答したのが、小学校は昨年と比べて、上回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。中学校は昨年と比べて、下回り、昨年の岩見沢と同様である。
- 「授業でもっとコンピュータなどのICT機器を活用したと思っていますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年と比べて、やや下回り、昨年の岩見沢より下回っている。中学校は昨年と比べて、大きく上回っている。
- 「普段、1日当たりどれぐらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」については、本年度に新たな質問で、

肯定的な回答を割合で示すと、30分以上と回答したのが小学校は約33%、中学校は約38%である。

ICTの活用については、小・中学校共に使用する機会が多くなっている。プログラミング教育の推進やICTを活用した授業改善等の積極的な取組が好影響を与えていると考えられる。

(6) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について

質問番号 (37)、(42)、(43)、(44)

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」についての肯定的な回答は、小・中学校共に昨年の全国や岩見沢と比べて、大きく上回っている。
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、上回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている、中学校は昨年の全国より大きく上回り、昨年の岩見沢より上回っている。
- 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国や岩見沢と比べて、同様であり、中学校は全国より大きく上回り、昨年の岩見沢より上回っている。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」についての肯定的な回答は、小学校は昨年の全国と比べて、大きく上回り、昨年の岩見沢よりやや下回っている。中学校は昨年の全国より大きく上回り、岩見沢より上回っている。

学級での話し合い活動や道徳についての肯定的な回答が昨年より多いことから、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりが進んでいることがうかがえる。特に、中学校がその傾向が著しい。

(7) 学習に対する興味・関心について 質問番号 (67)、(68)、(69)

- 「英語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、小学校は本年度に新たな質問で、肯定的な回答を割合で示すと約59%である。中学校は昨年の全国と比べて、やや下回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。
- 「前の学年までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか」についての肯定的な回答は、小学校は本年度に新たな質問で、割合で示すと約73%である。中学校は昨年の全国や岩見沢と比べて、大きく上回っている。
- 「あなたはこれまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか」についての肯定的な回答は、小学校は本年度に新たな質問で、割合で示すと、約43%である。中学校は昨年の全国と比べてやや下回り、昨年の岩見沢より大きく上回っている。

「英語の勉強が好き」と回答したのは、英語の実施年にあたる小学校は59%ではあるが、一方、否定的な回答が40%を超えているところに懸念が残る。中学校は自分の気持ちを英語で伝え合うことが増えている。また、日常的に英語を使う機会も増えるなど、英語に対する興味や関心が昨年より、高まっている。

2 調査結果による指導改善のポイント

(1) 基本的な生活習慣のより一層の定着

学校、家庭、地域、行政が一体となり、子どもたちの生活習慣をより一層、定着させることが「学力向上」へとつながることから、引き続き「家庭での5つの約束」の啓発の徹底を図る必要がある。特に、「オ」の「家族との会話を大切にしよう」については、家庭との一層の取組の連携が望まれる。

〈家庭での5つの約束〉

- ア 早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけよう
- イ 次の日の学習準備をしよう
- ウ 家庭学習を毎日しよう
 - ・帰宅後の学習習慣を身に付ける
 - ・宿題、予習、復習をする
- エ 読書に親しもう
- オ 家族との会話を大切にしよう

(2) 望ましい学習習慣の定着

子どもの学習習慣は、基本的な生活習慣と同様に、学校、家庭、地域、行政が一体となって学力向上や望ましい学習習慣の定着に向けた取組を進めることが大切である。

- ① 学校での家庭学習に関する指導や励ましや意欲付けを図る。
- ② 小学校段階での課題のある教科や単元等を引き継ぎや合同研修等で中学校と連携した取組の補強・強化に努める。
- ③ 家庭への啓発と連携により家庭学習習慣の定着を図る。

(3) 子どもの自己有用感・挑戦心・達成感・規範意識等を育てる取組の推進

学校生活において自己有用感や規範意識等を高める取組を推進し、子どもたちの「学びに向かう力」を高めることが重要である。

- ① 授業や行事等の教育活動を通して、子どもに自信を持たせたり、達成感を味わわせたり、自分のよさに気づかせたりする活動の意図的な場や時間の設定
- ② 命を大切に、豊かな人間性・社会性を育てる「心の教育」の推進
- ③ 子どもを理解し、寄り添う、子どもを主体とした生徒指導の推進
- ④ 「hyper-QUよりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を活用した実態把握と効果的な活用
- ⑤ 支持的・親和的な人間関係を育む「ピア・サポート」の取組の推進
- ⑥ ふるさとに愛着を持ち、岩見沢の歴史・文化・自然に誇りを持つ「ふるさと教育」の推進

(4) 「家庭力」「地域力」の更なる向上

平日における学習時間の短い子ども、夜遅くまで起きている子ども、ゲームをする時間やスマートフォンの使用時間が長い子どもも多くいる。一方では、家族と話す時間の減少等々、生活習慣に関わる課題への対策が必要である。

- ① 家庭における、子どもが社会性や自律性を身につけ、自らの生活リズムを整えようとする態度の育成
- ② コロナウイルス感染予防に配慮しながら、地域の子ども会、地域行事、関係機関、PTA等との連携・協働により、子どもたちの地域や社会への関心を高める地域ぐるみの子育て推進体制の構築と推進とともに、その取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(5) ICTの効果的な活用と情報活用能力の育成

GIGAスクール構想の前倒しにより、年内に児童生徒一人一台端末が整備されるなど、急速にICT環境が充実されてきている。今後も学習に活用される場面も多くなっていく。そこで大切なのは、児童生徒が端末を通して「学ばされる」にとどまらず、学びの質を高めるツールとして活用するために、情報活用能力をデザインし、カリキュラム・マネジメントを通して育成を図る必要がある。

(6) 学習に対する興味・関心を高める指導の改善と工夫

小学校においては、本年度が英語科の実施年である。質問紙調査では「英語の勉強が好きですか」の質問に40%が否定的な回答であった。学校は、子どもが「学ぶ喜び」や「考える楽しさ」を体得できるような「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりが大切である。本来の英語の楽しさや学ぶ喜びを経験することで、英語を覚えることへの抵抗感を少なくすることになる。これからも、楽しい授業づくりと指導のあり方の改善工夫が必要である。

<あとがき>

今年度は、新型コロナウイルス感染の影響で例年とは違う学習様式や生活状況の中で行なわれた「児童生徒質問紙」についての調査です。

昨年の全国や岩見沢市のデータと単純に比較検討した結果そのものを評価することにはなりません。現在の状況を把握し、今後の対策への一助となることを期待します。